

13. 膵がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
					体外照射	治療内容			治療実績	医師の 専門 分野		
1 消化器内科	16	9	状況	×	○	○	消化器疾患の地域基幹病院、急性期病院として、肝臓・消化器内視鏡の専門医が中心となり、診療にあたっています。診断・治療に際しては、消化器外科、肝胆膵外科、放射線科と連携し、外科手術も含め様々な治療法の中から最適のものを選択しています。消化管疾患としては、早期がんに対する内視鏡特色とするべき点は、1)カイトラインに従って医療を行っていること 2)腹腔鏡手術(胃、大腸)を積極的に導入していること 3)抗癌剤治療(胃、大腸、胆道系)も積極的に行っていること(基本は外来化学療法)等をあげることができます。定期的手術治療が中心の外科で月曜日から金曜日まで平日は毎日午	ア	http://www.suitasaiseikai.or.jp/suitabo/shokai/medical_section/naika_shokaki/index.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	あり	なし		イ	http://			
2 消化器・乳腺外科	8	5	状況	○	○	○	消化器疾患の地域基幹病院、急性期病院として、肝臓・消化器内視鏡の専門医が中心となり、診療にあたっています。診断・治療に際しては、消化器外科、肝胆膵外科、放射線科と連携し、外科手術も含め様々な治療法の中から最適のものを選択しています。消化管疾患としては、早期がんに対する内視鏡特色とするべき点は、1)カイトラインに従って医療を行っていること 2)腹腔鏡手術(胃、大腸)を積極的に導入していること 3)抗癌剤治療(胃、大腸、胆道系)も積極的に行っていること(基本は外来化学療法)等をあげることができます。定期的手術治療が中心の外科で月曜日から金曜日まで平日は毎日午	ア	http://www.suitasaiseikai.or.jp/suitabo/shokai/medical_section/shokakigeka/index.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	なし		イ	http://			
3			状況					ア	http://			
			実績					イ	http://			
4			状況					ア	http://			
			実績					イ	http://			
5			状況					ア	http://			
			実績					イ	http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:膵がん、膵内分泌腫瘍 膵癌、膵体部癌、膵頭部癌、膵尾部癌、膵管内乳頭粘液性腺癌
------------------------------------	--